

まえがき

高専を志す皆さん、こんにちは。国語担当の岡田です。

国語という科目は皆さんにとって、どんな科目でしょうか？味方ですか？それとも敵ですか？

この授業はみなさんにとっての国語を力強い味方にしようというものです。

よく巷で言われている、「国語はどうやって勉強して良いかわからない」とか、「国語の答えなんて一つに絞れない」とか、そういうところから一線を引くための授業です。

そのために授業の中でさまざまな読解と設問の知識を身につけてもらいましょう。

こういった知識はそれがそのまま出るという性質のものではありません。

しかし、この方法を身につければ、みなさんは国語という科目を強い味方にすることができるのです。

知識を「体得」してください。小手先の受験テクニックを教えるつもりは全くありません。

そんなものではなく、確固たる読解力と解答力です。

以下に国語を学習する上での大事なことを記します。

1. 授業の中で、文章を読み合わせる時は真剣に聞いて、理解しようとする。
2. 選択式の問題は、間違い選択肢の「どこがちがうか」を意識すること。（選択肢の間違い箇所を線引いて×をつけましょう）
3. 困ったら本文に戻ること→選択肢だけを吟味していても答えは導けない。

では、高専入試の合格に向けて一緒に頑張っていきましょう！

ナレッジスター 岡田泰典



【論説文】論説文の構造をつかむ！

頻出!!

筆者は主張を理由と根拠で補強する！

頻出!!

論説文には「事実」と「意見」がある！それらを整理せよ！

私はカレライス好きの方が優れているとおもう。
なぜなら…

〇〇大学のデータによると…

私の経験では…

多くの例で見られるように…

確かに反対意見もあると思うけど…

1989年、カリフォルニアでは…

などなど…

「大事なことは「どんな主張」が「どんなふうに補強されたか」を
認識しながら読解を進めること！

例題

「生きる」ことは不確実性に向き合うことです。

不確実性に向き合うことは、正解のない世界に飛び込み、そして泳いでいくことであり、その大海において自分の脳をどのように使うのか。これこそが、生涯を貫く最も大切な問題であり、究極的にいえばそれ以外にはあり得ないというのが僕の持論です。

では、人生という大海において脳の力を発揮させるために、僕らはどのような「道具」を携えているのでしょうか。

さっそく脳という道具箱をあけてみましょう。最も身近な道具から始めるのがよさそうです。誰もがきちんと持っていて、常日頃から磨き続けている道具、すなわちそれは「感情」です。

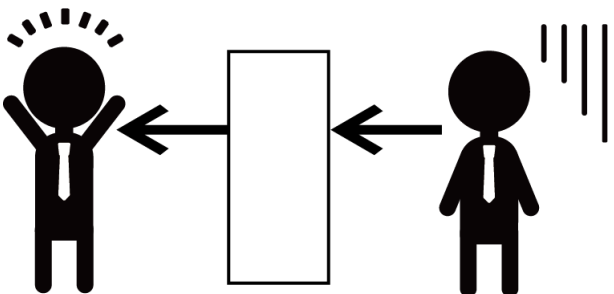
人間の感情とは、不確実なものに対する適応戦略であり、同時に避難場所でもあります。

うれし涙から悔し涙。感涙から泣き笑いに至るまで、涙ひとつとっても人それぞれに無限の振幅があるのが感情です。「喜怒哀楽」による笑いや涙というものが、予測不可能な現実への緩衝材にもなることは、多かれ少なかれ誰もが日常生活で経験済みのことでしょう。

実際、脳科学的な面から、感情の幅が広い人ほど情動を司る大脳辺縁系と呼ばれる部分が発達していて、不確実性への適応力が高いといわれています。簡単にいえば、臨機応変に対処しやすい脳の回路ができていくというわけです。

【小説文】小説の構造をつかむ！

ポイント 小説は4つの事柄に注目して読む！



例題

主人公の操が、ほぼ二年ごとに転動する父の仕事の都合で、二学期の途中に転校し、新たな学校へ通うことになった初日の様子を描いたものである。

飾り気のない校舎だが、手入れはよく行き届いている。磨かれた窓から、操を励ますように、澄明な青い空が見えた。下駄箱や廊下に運動用具がならんでいないのが、ひとまず操を安堵させた。度重なる転校で、早々と校風を見抜く眼力だけはたけていた。

学校によつては、ボールや体操器具がこれみよがしに廊下へならび、ひとりひとりがいかに熱心にそれと取り組んでいるかを誇らしげにあらわした。操は小柄で非力なのを気にしている。生徒をひとりもささず運動に駆り立てる一致団結の精神には、もつともなじめないのだ。

教室への第一歩は、これまでに経験した緊張や気詰まりと似たり寄ったりだった。少しだけよめき、ひそひそ声に変わる。操は力の抜けた声で、面白みのないあいさつをし、指定された席へおとなしく腰かけた。

【設問の分類】 文脈型（空所補充問題）

文脈型【に入る言葉を】

←空所補充問題でよくでる！

- ① 知識
- ② 文脈型 ◆
- ③ 言い換え型
- ④ 理由型
- ⑤ 心情把握型
- ⑥ 表現型
- ⑦ 要旨型

空所補充はその場で解く！

例題 1（30 秒）

彼は明日、前人未到のルートからあの聖なる山を登る。命が失われるかもしれない、いや失うに違いない。 A 今日の彼は小鳥に餌をあげたり、虹を見つけて子供みたいにはしゃいだりしているのだ。

【設問の分類】 要旨型

要旨型【要旨を・全体の内容として】

論説文の大事な要素のみを抽出できますか？と問われています。

- ① 知識
- ② 文脈型
- ③ 言い換え型
- ④ 理由型
- ⑤ 心情把握型
- ⑥ 表現型
- ⑦ 要旨型 ◆

要旨型の問題は設問の最後に置かれていることが多い問題です。筆者の主張とその変遷（変遷があるなら）を追いかけてみましょう。

←要旨型の問題を解くときは正しい読解力が最も大事になります。

この生物は鳥である。（原因・理由）

逆接

空を飛ぶことはできない。（意外な結果）

この生物は鳥である。（原因・理由）

順接

空を飛ぶことができる。（当然の結果）

この生物は鳥である。（A）

説明

=

羽毛を持つ生き物だ。（B）

論説文

要旨

近年の世の中の傾向は〇〇であるが、その結果〇〇という問題が多々みられるようになってしまった。これに対して△△という対策を講じていく必要がある。

最近の世の中は〇〇な感じだね

具体例はこんな感じで

でもこれにはこんな問題が

べつしたら良い方向に進むんだらう？

こういう風に進めていくと良いんじゃないかな！

【設問の分類】表現の特徴型

表現の特徴型

【表現の特色として・表現の効果として・この文章について】

小説では筆者は様々な手法・個性によって小説世界を豊かにしている！

←それは表現の特徴となって表れる。

- ①知識
- ②文脈型
- ③言い換え型
- ④理由型
- ⑤心情把握型
- ⑥表現の特徴型◆
- ⑦要旨型

例えば…

比喩を多用する・主人公の内面の言葉が多い・風景描写が多い・会話文が多い・会話文のテンポが良いなどなど

大事なことは「本当にそうになっているか」を確かめること！

「れる」「られる」の識別

宿題が終わったのでやっとテレビを見られる。

「れる」も「られる」も意味は一緒！

- 上一段活用
- 下一段活用
- カ行変格活用
- ↓これらの動詞には「られる」がつく。

- 五段活用
- サ行変格活用
- ↓これらの動詞には「れる」がつく。

「れる」「られる」の意味は4つに分かれている。

- 1、可能
- 2、受け身
- 3、尊敬
- 4、自発

↓これらを文脈で判断する！

練習問題

大学生の晴希（ハル）は、ケガをきっかけにして柔道をやめ、男子チアリーディング（チア）チームを結成した。姉の晴子は柔道をやめた弟を許せず、晴希もチアに賭ける思いを姉に話せずにいた。二人は自宅の屋上で顔を合わせた。強かった柔道で最近勝てなくなった晴子は、弟の悩みに気づけなかった自分が許せないと話し、晴希も姉に話し始める。

「俺は」

やっと、声が出た。

トランポリンから降りた晴子は、まっすぐに晴希を見つめている。もう何もごまかせないし、ごまかさない。

「姉ちゃんの言葉を重荷だっと思ったことは一回もないよ。俺はいつも、姉ちゃんに励まされてきた。これはほんとだ。嘘じゃない」片づかないまま、言葉がこぼれてくる。けどもうこれでいい。ふ、と、力を抜いたように晴子が息をした。

「俺は、チアをやれば、姉ちゃんが今まで見てきた景色を自分の目でも見られるかもしれない、って思ってた」

だけど、神奈川予選のとき、わかったことがある。

「それは違った」

三層のピラミッドの一番上に立っても、晴子が見ていた景色と、自分がそのとき見ていた景色は、何かが決定的に違った。

1、可能

↓「○○できる」という意味

例）君なら彼を助けられるはずだ。

2、受け身

↓「○○される」という意味

例）注目されることに慣れていない。

3、尊敬

↓「○○なさる」という意味

例）社長が今日帰国される。

4、自発

↓「自然と○○してしまう」という意味

例）卒業アルバムを見ると、学生時代が思い出される。
例）母の面影が偲ばれる。